

約を締結し新舊役員全部辭表提出の上改めて之を選任することゝなせり従つて去る七月十日東京地學協會に開催せる舊重役派の招集せる臨時總會に於ても會議事項は全部決議を延期し單に右和解契約の承認臨時總會招集の件を可決して散會せり。

●神戸製鋼所擴張 曩に千二百噸の水壓機を増設して事業擴張を圖れる神戸製鋼所は今回更に千二百噸の水壓機を増設すると共に棒鐵角鐵の製造をなすの外砲身魚型水雷等の軍器をも製造する事となり目下準備中なるか棒鐵角鐵は昨今一般の需要多く頗る好成绩を告げつゝあり尙將來同所は現埋立地完成工場増築と共に板鐵、軌條等の製造をも試み室蘭製鋼所と東西相對抗するの準備となす由。

●鋼管擴張完成期 日本鋼管會社の擴張事業たる鐵管、鐵角物、鐵丸棒等月産凡そ二千噸の増加製造を目的とせる工事は目下進行中にして七月中には竣成すべく然る上は年額五萬噸の製品を得へしとなり。

●亞鉛業勃興 世界の亞鉛國と日本、世界の亞鉛工業國に於ける日本の地位如何と云ふ問題に付戰亂後の形勢は獨白の製造量頓と明かならざるも工學博士齋藤大吉氏の說明に基き大正二年の統計に徴すれば同年の世界亞鉛産額約百萬噸、此内譯は

米國	三二〇、〇〇〇噸	獨逸	二八五、〇〇〇噸
白國	二〇〇、〇〇〇	佛國	七〇、〇〇〇

英國	六〇、〇〇〇	和蘭	二七、〇〇〇
奧太利	二五、〇〇〇		

なるか尤も米國は今後更に著しき發展を示し昨年の産額は五十一萬噸となれり翻つて日本の産額如何を調査するに各會社共極めて内容を秘密に附せるも大約左の見當に在るは疑ふ可らず

大阪亞鉛	二〇、〇〇〇噸	三井	一〇、〇〇〇噸
高田商會	六〇〇	久原鑛業	五〇〇
鈴木	一、〇〇〇	其他	七、九〇〇
合計	四萬噸		

即ち新進の日本として既に和蘭、奧太利を凌駕し佛、英に次ぐの第六位に進みたること甚た喜ぶ可きの現象なれと更に米、獨、白の三大亞鉛國に對比すれば未だ幼稚の域に在るの誹謗を免れず。

▲新會社の勃興 亞鉛製鍊の巨擘は戰前疾く事業に着手せる三井及藤田組の大阪亞鉛にして前者は普通亞鉛を主とし後者は純亞鉛を専ら製造し其産額昨年一萬六千九百八十五噸此外普通亞鉛三千三百十噸、亞鉛末四百七十九噸あり近く生子亞鉛、電氣銅の製造を開始する筈なるか前述の如く高田、鈴木、久原の富豪亦續々亞鉛の製鍊を開始し其外東京にて資本金百萬圓の日本亞鉛會社創立せられ横濱の茂木商店亦斯業に着手の計畫あり岡山に福澤桃介氏等の大工場建設目論見あり是等は何れも相當大規模の經營に屬するも更に小規模の工場は最近關西方面にて六十箇所を算するに至